

WAKA-P

和歌山県文化情報誌 ワカピー

関西から
文化力
POWER OF CULTURE

2016年 3・4月号 Vol. 66

Wakayama Culture and Arts **POWER**

まきえし
蒔絵師 池島史郎

ふたつとない表情に
紀州雛の魅力が光る

【名匠を訪ねて】



Contents

- アーティストメッセージ…2
- 和歌山県名匠表彰受賞者…3
- イベントガイド…4・5
- 名匠を訪ねて…6
- 輝く、和歌山人…7
- カルチャーインフォメーション…8

蒔絵師・池島史郎さん
紀州雛の製造元である家業を受け継ぎ、
29歳から人形作りの腕を磨く。漆塗りや
蒔絵の伝統的な技法を今に伝えている。

♪ Special Request.

南こうせつさん 来和特別企画

～こうせつ春の歌10選～

心に残る「こうせつ春の歌」を 推薦してください。 当日のステージで「10選」を紹介!

3月21日(祝・月)、和歌山県民文化会館で南こうせつさんの
コンサートが開催されます。そこで特別企画として、
「春に聴きたいこうせつの歌」を読者の皆様から募集いたします。



例 年より春の訪れが早いと云われる今年。桜の花が大好きだというこうせつさんが桜前線をつれて和歌山来訪!

「さようなら・初めまして」。こんな言葉が行き交う季節、3月21日(祝・月)に和歌山県民文化会館で2年ぶりとなる南こうせつさんのステージが実現します。前回、こうせつさんの盟友ともいべき伊勢正三さんとのコラボで私達を「かぐや姫ワールド」へといざなっていたあの興奮のステージが今でも目に焼き付いている人も多いのではな

いでしょうか。

12年ぶりのけんぶんソロライブ 直前企画!

「出会いと別れの季節」。まさに悲喜こもごもの春、読者の多くの皆様が「かぐや姫・南こうせつ作品」に癒され励まされるなど様々なシーンを彩った思い出の唄をお持ちのことでしょう。

今回こうせつさんを迎える直前企画としまして、デビュー以来かぐや姫時代からソロ時代と45年余りに渡るアーティスト活動を通して発表された作品の中から

春に聴きたい歌をテーマに、読者の皆様の心に残る「こうせつ春の歌10選」をご推薦いただければと思います。

ご推薦の10曲を事務局までメール又はハガキにてご応募いただき、集計したデータの上位10曲を“こうせつさん”に送らせていただきます。3月21日のステージでは皆様が選ばれた「こうせつ春の歌10選」をご紹介します、セトリストにも採用してもらえるようご提案させていただきます。2016年春、ご来場の皆様と一緒に盛り上げる“南こうせつ和歌山ライブ♪”、多くのご参加をお待ちしております。

参考までに
事務局が選んだ

「こうせつ春の歌10選」をご紹介します。

- ➡ ①加茂の流れに ②妹 ③なごり雪 ④青春の痛み ⑤おもかげ色の空
⑥恋はるか ⑦遥かなる想い ⑧うちのお父さん ⑨上海エレジー ⑩春に想えば

応募 方法

- 本文内容／お名前(ペンネーム可)、年齢、ご推薦の10曲をご記入の上、下記の住所またはアドレスまでお送り下さい。
- ハガキの場合／〒640-8269 和歌山市小松原通1-1 和歌山県民文化会館「こうせつ春の歌10選」係宛
- メールの場合／wacaf@wacaf.or.jp ※件名に「こうせつ春の歌10選」とご記入ください。
- 募集期限／3月13日(日)迄

Profile

ミュージシャン
南こうせつさん

1949年大分生まれ、1970年「かぐや姫」結成。その独特の音楽性とバイタリティで、創世期のフォークミュージックシーンに強烈なインパクトを与えた。「神田川」「赤ちょうちん」「妹」等、ミリオンセラーを数多く発表し、アルバムは6枚、ナンバーワンを記録。デビュー以来45年

以上に渡り、コンサート活動をベースに多くの支持を得てきたが、近年その活動領域は多方面へと広がりを見せ、アーティストとしてだけでなく、一生活人として時代を見据える彼の姿勢は大地に根ざした独自のライフスタイルと共に多くの共感と支持を得ている。



3月
21日

南こうせつコンサートツアー2016～緑の旅人～

昨年6月にはTVCMソングにもなり注目を集めたニューシングル「微笑みに出会うために」をリリースした南こうせつさんの和歌山でのコンサートが実現!

- 開演／午後5時(開場／午後4時30分)
- 場所／和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料／一律6,000円(全席指定)※未就学児入場不可
- 【チケット販売について】■一般プレイガイド発売／1月23日(土)より販売中
- お問い合わせ／和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331



和歌山県名匠表彰とは、伝統工芸品や生活用品の製作技術を保持し、地域社会の向上と発展に功績のある人たちに贈られる賞です。

平成26年度 和歌山県名匠表彰

松明製作

上道益大(うえみちますお)さん

昭和8年新宮市生まれ。熊野速玉大社の摂社、神倉神社の氏子として18歳頃から御燈祭の執行・護衛役の介錯を務める。26歳の時、大工であった従兄弟に手ほどきを受け、祭に用いる松明作りを始めた。以来56年にわたり、年間およそ700本もの松明を製作。伝統的製法を守る上道さん作の松明だけが、神倉神社の印を押すことを許されている。



新宮市の神倉神社で、例年2月6日夜に執り行われる御燈祭。白装束に身を包んだ2000人もの上り子が、松明を片手に538段の石段を一気に駆け下りる勇壮な火祭りです。神倉神社の御神体は山上に鎮座する巨石・ゴトビキ岩で、祭の歴史は約1400年。和歌山県無形民俗文化財にも指定されています。

その御燈祭に欠かせない松明を、半世紀以上にわたって作り続けているのが上道益大さん。神倉山の麓に工房を構え、大きさの異なる数種類の松明を年間に約700本作ります。

「祭の夜は松明の火だけで、ゴトビキ岩がぱっと浮かび上がってきれいに見えますね。私も小学生の頃から上り子として祭に参加していました。新宮では男子は上り子をやって一人前という気風があるし、初めて参加した時は子ども心に嬉しかったです。当時は今より、もっと激しい祭だったんです」。

松明作りには複雑な工程が多く、上道さんも満足できるものが作れるまで約10年かかったとか。材料は十津川村から仕入れる檜の板で、乾燥させて薄く削り、面と面をきっちり合わせ

て五角錐に組んでゆきます。「祭の日、上り子たちは火の点いていない松明を互いに打ち合わせて“頼むでえ”と声を掛けるんです。松明は五角錐にすることで強度が出る。荒々し

い祭なので、しっかり組まんとバラけてしまいます」。

ネジバナと呼ばれる房をカンナで削り出すのも特殊な技術です。らせん状に曲線を描くネジバナに彩られた松明は、まるで芸術作品のような美しさを醸し出します。「松明は火が燃えたらそれでええというものではないんです。神事やからね。私は檜以外の材料を一切使いませんし、手間をかけても納得できるものを作りたい。伝統のある祭をけがすようなことはできません。この仕事は氏子の責任やと思って奉仕の精神でやっています」。上道さんが作る松明には、神倉神社への信仰と氏子としての誇りが込められているのです。

伝統的な松明を作る職人がほとんどいなくなった今、上道さんが持つ技術の継承も課題です。「私がこの年齢まで元気に仕事を続けていられるのも、神様のための仕事をしているからでしょう。松明を作ること、地元みなさんにも喜んでもらえるので幸せです」。御燈祭まで休む間もない多忙な日々が続きますが、終わるとすぐに来年用の松明作りが始まります。



和歌山県民文化会館「貸会議室」値下サービス開始!

予約受付中

いつでも1,000円
サービス開始!

18名部屋対象
H28年度利用分限定

1,000円

■H28年度 会議室料金表(H28.4.1~H29.3.31) ※消費税率改正により料金が変動する場合があります。

	午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 17:30~21:30	午前・午後 9:00~17:00	午後・夜間 13:00~21:30	終日 9:00~21:30
18名	1,000円	1,000円	1,000円	2,000円	2,000円	3,000円
30名	3,700円	5,600円	7,200円	7,800円	11,100円	13,500円
50名	5,100円	8,900円	11,100円	11,300円	15,200円	18,700円
60名	5,700円	9,800円	12,200円	12,400円	16,700円	20,600円
80名	8,900円	13,800円	17,300円	17,900円	24,400円	28,900円
120名	11,900円	11,900円	24,400円	24,800円	33,400円	40,600円

P

24H OPEN
40分100円
24時間1泊800円

■全室 有線LAN&フリーWi-Fi完備

■予約・お問い合わせ／和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331 HPにて空室照会&ネット予約可(要事前登録)

3/13 第2回県民文化ステージ

県内の文化団体が集まり、日頃の成果を皆さんに広く紹介する県民参加による芸術文化の祭典を行います。

出演団体

エスカルゴなギター、Ensemble Mikanier、
長唄 栄七珠の会、武術太極拳 チーム ティエラ、
ハワイアンフラサークル Olu Olu Kamanao、
ソレイユ バレエ、バレエスタジオ ティアラ



エスカルゴなギター



長唄 栄七珠の会



武術太極拳 チーム ティエラ



ハワイアンフラサークル Olu Olu Kamanao

■開演／午後2時(開場／午後1時30分) ■場所／和歌山県民文化会館大ホール ■入場料／無料(全席自由)

4/29 第44回和歌山県新人演奏会出演者募集

音楽を学んでいる優秀な若人を広く県民に紹介するとともに、本県の音楽文化の振興と向上を図ることを目的に和歌山県新人演奏会を開催しています。本年は7月9日(土)に和歌山県民文化会館大ホールで開催します。この演奏会に出場を希望される方々のオーディションを次の要領で募集しています。多くの皆様方のご応募をお待ちしています。



過去の新人演奏会より

募集要項

オーディション開催日時	4月29日(金・祝) 午後1時開始予定
開催場所	和歌山県民文化会館大ホール
参加料	無料(公開オーディション)
応募資格	年齢が20歳以上35歳以下(平成28年4月1日現在)の方で、かつ、下記のいずれかに該当される方。 本県の出身者・在住者・勤務者・在学生・卒業生 ※過去「新人演奏会」に出演された方は応募できません。
演奏部門	クラシック部門(声楽・器楽・作曲・邦楽) ※各部門とも生演奏に限ります。作曲・邦楽の場合は楽譜を提出してください(返却しません)。 主催者で用意する楽器はピアノのみです。
演奏時間	5分以内(曲のカットは任意) ※演奏時間の長短は審査の対象になりません。
演奏曲目	自由 ※ただし演奏会で演奏する曲となります。
結果発表	オーディション審査後、当日発表。後日、郵送でも通知します。 また、結果発表後、選考委員から個別に講評が行われます。
応募条件	オーディション合格者は、平成28年7月9日(土)午後1時から開催の第44回和歌山県新人演奏会に出演して頂きます。他条件あり。
申込方法	3月31日(木)までに所定の用紙に必要事項を記入のうえ、応募資格を証明するもの(コピー可)を添えてお申し込みください。

■お問い合わせは右ページの下欄の「新人演奏会係」まで。

7/9 第44回和歌山県新人演奏会

音楽を学ぶ優秀な若人を広く県民に紹介する演奏会。4月29日のオーディションに合格した若き演奏家のフレッシュな演奏をぜひお楽しみください。

■開演／午後1時(開場／午前12時30分)
■場所／和歌山県民文化会館大ホール
■入場料／一律1,000円(全席自由) ※未就学児入場不可

和歌山県文化表彰受賞記念事業

平成26年度に和歌山県文化表彰を受賞された方々の業績を讃え、活動成果を広く県民に知って頂くため、作品展・講演会等を開催します。(イベントは基本、入場無料)

和歌山県文化表彰受賞記念展(作品展)

平成26年度和歌山県文化表彰受賞者を紹介する記念展。野田裕示氏の洋画、湊宏氏のカタツムリ標本、石黒晶氏の出版楽譜、広谷純弘氏の建築模型等の展示や岡崎団七踊保存会のDVD上映等を予定。

■日時／3月11日(金)～3月20日(日) 午前9時30分～午後5時 ■会場／和歌山県民文化会館大展示室
■お問い合わせ先／和歌山県庁文化国際課 TEL.073-441-2052



野田裕示さん



和歌山県文化表彰受賞記念 講演「つながる建築」

建築家・広谷純弘氏による講演。

■日時／3月13日(日) 午後1時30分～(受付／午後1時～)
■会場／和歌山県民文化会館 5階大会議室
※整理券必要(定員80名)

広谷純弘さん

和歌山県文化表彰受賞記念 講演「カタツムリのお話」

陸産貝類(カタツムリ)研究家・湊宏氏による講演。

■日時／3月19日(土) 午後2時～(受付／午後1時30分～)
■会場／和歌山県立自然博物館
※事前申込必要(定員20名)、県立自然博物館の入館料が別途必要です。
小学生以上対象(小学生は保護者同伴)。



湊 宏さん

3/16-21

和歌山県名匠表彰受賞記念展

平成27年度和歌山県名匠表彰受賞者である橋爪靖雄氏の業績を讃え、活動成果を広く県民に知って頂くため、功績紹介、製作工程パネル、作品等を展示する展覧会を開催します。

■時間／午前9時30分～午後5時(最終日は午後3時まで)
■場所／和歌山県民文化会館特設展示室
■入場料／無料
■お問い合わせ先／和歌山県庁文化国際課 TEL.073-441-2052



橋爪靖雄さん(漆芸家・海南市)

6/6

風間杜夫ひとり芝居「正義の味方」

俳優の風間杜夫さんによる一人芝居。風間さんが演じるのは、下町の銭湯で働く95歳の名物いーさん・大角卯三郎(おおすみうさぶろう)。長髪にロッカー風の居立ちで世相を斬り、2度の戦争に召集された生涯を語るうち、「本当の正義とは何か」と自問自答する。大正から平成にいたる激動の時代を笑いと涙と正義でお贈りします。

■開演／午後6時30分(開場／午後6時)
■場所／和歌山県民文化会館 小ホール
■入場料／一律6,000円(全席指定) ※未就学児入場不可
【チケット販売について】
■けんぶん友の会優先電話予約／3月14日(月)午前10時から
■一般プレイガイド発売／3月20日(日)午前10時から

主催 和歌山県

主催・お問い合わせ

(一財)和歌山県文化振興財団(和歌山県民文化会館)
〒640-8269 和歌山市小松原通1-1 TEL.073-436-1331 FAX.073-436-1335

名匠を訪ねて

県内で活躍される名匠の方々の
創作現場をシリーズで辿ります。



繊細な筆使いで描いて
いく池島さん。手間ひ
まかけて愛らしい人形
が生まれます。



◆ 蒔絵師

いけしま

しろう

池島 史郎

PROFILE ◆ 昭和31年、和歌山市に生まれ海南市で育つ。「紀州雛宗家 寺下」の3代目。海南市黒江の地場産業である漆工芸を受け継ぎ、29歳から蒔絵師として腕を磨く。製作するのは祖父・寺下幸司郎氏が昭和初期に考案した紀州雛。紀州漆器と同じ製法で作られる愛らしい人形は和歌山県郷土伝統工芸品にも指定され、県内外から好評を得ている。

ふたつとない表情に、紀州雛の魅力が光る

漆塗りの紀州雛を考案したのは、海南で木地屋をしていた私の祖父です。地場産業を活かした土産物として作り、製造元として商いをしていたそうです。その家業を継いだのが母親で、私が絵付けを学んだのは29歳の時でした。ようやく売り物にできる人形ができたのは、2年後ぐらいでしたかね。

素材は雑木林などに自生しているエゴノキという落葉樹です。エゴノキは歪みや割れが少なくて人形作りに向いている。木地を仕入れたら下地を塗って、乾かしてから上塗りを行います。絵付けの作業は1日に1色しか塗れません。塗ったら乾燥させて、また別の色を塗っていく。全部で7色ほどの漆を使いますが、仕上がるまでは

1ヶ月半ぐらいかかります。

手作業なので人形の表情は微妙に違います。同じ顔の作品が、ふたつとないことが魅力だと思います。手仕事ならではの味わいを求めてくださる方もいて、初節句のお祝いに他府県から注文をいただくこともあります。私の代で終わる仕事かもしれませんが、体が続く限りがんばりたいですね。

公演ポスター&チラシ等 設置協力者の募集について

和歌山県文化振興財団が主催する様々な文化振興事業を一人でも多くの方に知って頂くことを目的に、公演ポスターの掲示等PR活動が無償で行って頂ける方を募集しています。

■活動内容／公演ポスター、チラシを沢山の方に見て頂けるスペースに掲示または設置。ブログ、SNS等への掲載。

※ポスターやチラシは、登録された方に不定期にお送りします。

■注意事項／ポスター等の掲示・設置は、管理者の許可を事前をお願いします。

- ・私的な利用はお断り致します。
- ・活動に際して生じた事故等の損害は補償致しません。
- ・登録期間は1年。ただし、申し出がない場合は自動的に延長されます。

■お申し込み・お問い合わせ／(一財)和歌山県文化振興財団

〒640-8269和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

TEL.073-436-1331 Eメール/wacaf@wacaf.or.jp

輝く、和歌山人

和歌山県内をフィールドに、文化、スポーツなどあらゆるジャンルで活躍する人を紹介します。



和歌山大学 宇宙教育研究所長・教授
秋山 演亮さん AKIYAMA HIROAKI

PROFILE

あきやま・ひろあき
●昭和44年滋賀県生まれ。京都大学卒業後、西松建設(株)技術研究所に勤務。平成15年に退社後は秋田大学非常勤講師などを経て和歌山大学へ移籍。平成22年に設立された宇宙教育研究所の所長に就任し、宇宙を題材にした教育などに幅広く取り組んでいる。



「宇宙教育を通してチャレンジできる人材を育てる」

— 先生が宇宙に興味を持ったのは？

秋山 ● 子どもの頃、宇宙戦艦ヤマトや銀河鉄道999など宇宙を描いたアニメが好きでよく見ていましたね。しかも当時はボイジャーやパイキングという宇宙探査機が飛んで行って、木星や火星などの映像を地球にどんどん送ってくるでしょ。それを見て「すごいなあ」と。中学生になると「重力ってなんだろう」と考えるようになって、色んな本を読むようになりました。

— 加太で実験を始めた経緯は？

秋山 ● 前職の秋田でもロケット打ち上げ実験をやっていましたが、学生たちも各地から来るので本州中央部のアクセスのよい実験地を探していました。打ち上げに適した土地を見つけるのは難しいのですが、和歌山市加太にぴったりの土地があったんです。コスモパーク加太は広くて平坦ですし、県が所有している公有地。関空から

も近いので他府県や海外からも訪れやすい。加太があったから和歌山市を宇宙教育の拠点とする構想が生まれ、当研究所も設立されました。

— 宇宙教育研究所の目的は？

秋山 ● 目的のひとつは宇宙を題材にした教育手法の研究です。プロジェクトを円滑にまわしていくにはチーム全体を見て、さらに地元の人や自治体との関係も構築していく必要がある。ロケットの打ち上げは学生たちがやる気を持って参加し、新しいことにチャレンジし、みんなで考えながら課題を解決していく実践的なマネジメント教育です。日本の次世代を担っていきえるような「まかせられる人材」を和歌山で育てていきたいと考えています。

— 今後の展望を教えてください。

秋山 ● 親世代がチームを組み、協力しあってロケットを飛ばす「ママロケット」や「パパロケット」もやりたいです

ね。その体験から親世代の意識変革がなされたら、子どもたちの教育環境も良い方向に変わっていくと思います。また加太は、宇宙をテーマにしたリゾート地となる可能性を秘めている。若者や家族連れがロケットを打ち上げるためにやって来る、そんな体験教育型の観光地になったら楽しいと思いませんか。

第4回 加太宇宙イベント

学生たちが大空にロケットを打ち上げます！体験教室もあるよ！

●日時／3月13日(日) 10:00～16:30

●会場／コスモパーク加太

●内容／高校生によるハイブリッドロケットの打ち上げや大学生によるコールドロケットの噴射実験、ロケットの製作体験教室などを実施します。体験教室は先着各50名まで。(モデルロケット製作1000円、ペットボトルロケット製作300円)

※会場には歩きやすい靴でお越しください。安全のため保険にご加入いただきます。氏名・年齢・性別をご記入ください。(無料)

●主催／加太共同打上実験運営委員会

E-mail kada.space@gmail.com



宇佐美圭司《水族館の中の水族館 No.2》
1967年/油彩、キャンバス

宇佐美圭司回顧展

和歌山市で少年時代を過ごした宇佐美圭司(1940～2012)は、現代美術を扱うパイオニア的な場であった南画廊で1963(昭和38)年、彗星のごとくデビューして以来、日

本を代表する画家として活躍。人体を記号化した絵画を表現の主題とし、注目を集めました。没後3年を機に、アトリエに残された遺作を中心に、その画業を一望します。

【会期】3月1日(火)～4月17日(日) 【開館時間】9時30分～17時(入場は16時30分まで)

【観覧料】一般510円、大学生300円 【関連事業】フロア・レクチャー(学芸員による展示解説)3月13日(日)、20日(日・祝)、4月2日(土)、17日(日)14時から2階展示室にて、3月21日(月・祝)は午後2時より講師：岡崎乾二郎氏(美術家)を迎えて講演会を開催。

※イベントの日程や内容について、詳しくは当館ホームページまたは、お電話でお問い合わせください。

■和歌山県立近代美術館ホームページ／<http://www.momaw.jp/> ■お問い合わせ／TEL.073-436-8690

和歌山県立近代美術館便り

カルチャーインフォメーション

万葉館

☎073(446)5553

「万葉館コンサート♪♪♪」和歌山大学観光学部教授：米山龍
 ■3月5日(日) 14:00～15:00 介氏監修・司会によるコンサート
 ■先着50名(当日受付) ■参加費／500円 をお楽しみください。

「淡彩画展～私の描いた城と寺と海と…。」

■4月5日(火)～7月3日(日)

和歌山市出身の洋画家：中尾安希と生徒14名
 が描いた淡彩画作品を展示(6号 約20点展示予
 定)。また、中尾安希「長崎へ 教会と橋と燈台
 と…」も同時開催(10号 約10点展示予定)。



和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎9:00～17:00(入館は16:30まで)
 休無(年末年始12/29～1/3及び設備機器等点検日を除く) 入館無料

和歌山県立博物館

☎073(436)8670

企画展「海の国・わかやま」

■3月12日(土)～4月17日(日)

海と深い関わりの中で暮らしてきた紀伊半島の人々。海岸沿いの村
 や町の風景や、漁業や海運などの
 暮らし、さらには水軍など関わる
 資料を中心に、海を舞台にたくま
 しく生きてきたきのくにの人々の
 営みについて紹介します。



紀州熊野浦捕鯨図屏風(館蔵)

和歌山市吹上1-4-14 ☎9:30～17:00(入館は16:30まで)
 休月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始 入一般280円、大学生170円

和歌山県立紀伊風土記の丘

☎073(471)6123

春期企画展「古墳出現期の紀伊国」

■3月15日(火)～6月12日(日)

秋月遺跡や井辺遺跡で見つ
 かった古墳時代前期の小型墳
 や出土土器から、紀伊地域に
 おける古墳時代のはじまりに
 ついて紹介します。



和歌山市岩橋1411 ☎9:00～16:30(入館は16:00まで)
 休月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) 入一般190円、大学生90円

和歌山県立近代美術館

☎073(436)8690

常設展 コレクション展 2016一春

特集展示 謄写印刷工房から一印刷と美術のはざままで

■3月29日(火)～5月29日(日)

コピー機が普及するまで「謄写版」
 は、ガリ版とも呼ばれ親しまれて
 いました。本展では和歌山市の「蝸
 牛工房」ほか、産業としての印刷と
 美術をつないだ技術者たちの不屈
 の挑戦を紹介します。



清水武次郎『蝸牛工房挨拶状』1946年

和歌山市吹上1-4-14 ☎9:30～17:00(入館は16:30まで)
 休月曜(祝日の場合は翌平日)、12月29日～1月3日 入一般340円、大学生230円

和歌山県立自然博物館

☎073(483)1777

磯の生物観察会

■4月24日(日) 11:00～14:00

潮がひくと現れる潮間帯。磯には多
 くの生物がすんでいます。海と陸の
 間に広がる豊かな生物の世界を観察
 しませんか。



■開催場所／御坊市名田海岸 ■参加対象／小学生以上(小学生は保護者
 同伴) ■参加費／無料 ■定員／60名 ■用意するもの／濡れてもよい安
 全な履物(ビーチサンダルは不可)・帽子・採集道具(たも網・バケツ)など
 ■参加申込／往復はがきまたは和歌山県電子申請システムから ■応募締
 め切り／4月10日(日)必着(応募者多数の場合は抽選)

和歌山市船尾370-1 ☎9:30～17:00(入館は16:30まで)
 休月曜(祝日の場合は翌平日)、12月29日～1月3日 入一般470円

郷土の歴史と文化が学べるスポット

県内の郷土の歴史と文化が学べる施設をシリーズで紹介します。

太地町立くじらの博物館

☎0735(59)2400

ふれあい体験ができる博物館

様々なクジラ類の骨格標本、クジラの
 耳垢など珍しい生態資料や捕鯨の歴史
 など、ここでしか見られない貴重な資
 料が満載。屋外ではクジラショーやイ
 ルカショー、ふれあいスイムや餌あげ
 体験などイベントも盛りだくさん！



和歌山県太地町大字太地2934-2 ☎8:30～17:00 休無
 入一般1,300円、小・中700円 ※団体割引あり、各種イベントは別途料金

5/12(木)

リチャード・クレイダーマン2016
with ストリングス・トリオ & パーカッション

《チケット販売中》

繊細な指さばきで奏でられるやさしくロマンチックな旋律。「渚のアデリー
 ヌ」「愛しのクリスティーン」などの大ヒット曲を世に送り出した、リチャ
 ード・クレイダーマンの和歌山公演。

■開演／午後7時(開場／午後6時30分) ■場所／和歌山県民文化会館大ホール
 ■入場料／S席6,000円、A席5,000円、B席3,000円
 ※全席指定 ※未就学児入場不可



【編集後記】

春の訪れを感じられるようになってきた今日この頃。気付けばもう3月ですね。昨年7月からWACA-P
 作成に携わせて頂き、あっという間に5冊も発行し
 ていました。春は別れと出会いの季節。お客様と素
 敵な舞台芸術との新たな出会いに向けて、私たちが
 頑張っていきたいと思いますので、これからも変わ
 らぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■主催・お問い合わせ／(一財)和歌山県文化振興財団 TEL.073-436-1331

WACA-P

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行日】平成28年3月

【発行】和歌山県

【編集・問い合わせ】一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp